

平成 21 年 3 月

細胞診検査報告様式変更のお知らせ

(ベセスダシステム2001準拠子宮頸部細胞診報告様式の併記)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、細胞診検査報告書の様式におきまして、従来の報告様式（日母分類：クラス分類）に、ベセスダシステム2001準拠子宮頸部細胞診報告様式を併記しご報告させて頂くこととなりましたのでご案内申し上げます。

何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

***** 記 *****

報告様式変更内容

項目番号 40000 細胞診婦人科材料【液状検体】

	新	旧
細胞診判定内容	日母分類（クラス分類） 及び ベセスダシステム 2001 準拠 子宮頸部細胞診報告様式 を併記	日母分類 （クラス分類）
備 考	ベセスダシステム 2001（医会分類 2008）の詳細につきましては、裏面をご確認下さい。	

変更期日

平成 21 年 4 月 1 日（水）受付分より

報告様式変更理由

1973年に考案された日母分類（子宮頸部細胞診報告様式）はクラス分類のなかに推定病変をあてはめたものであり、当時としては画期的で使い勝手がよく、長きにわたり本邦で採用されてきましたが、最近の細胞診断学、分子生物学の進歩に伴い、子宮頸癌に新たな知見（HPVの関与等）が加わり、国際的に用いられている分類との整合性がとれなくなったこと。また、精度管理の面から単なるクラス分類ではなく、推定病変を記述的に記載する必要性がでてきたことなどから、社団法人 日本産婦人科医会より、平成 21 年度からの子宮頸部細胞診報告様式をベセスダシステム 2001 に準拠した子宮頸部細胞診報告様式に改定されることになりました。

以 上

09-0340